



SSH 研究室訪問 近畿大学生物理工学部

高校1年生環境科学科生徒は7月25(月)に、高校2年生生理系生徒は7月27日(水)に近畿大学生物理工学部の研究室訪問に行ってきました。近畿大学生物理工学部は、マンモス復活プロジェクトに関わっている遺伝子工学科や、工学・医学・臨床現場に精通した医療機器のエンジニア育成をする医用工学科等、学際的研究(研究対象がいくつかの学問領域にまたがっていること)に盛んに取り組んでいます。はじめに、近畿大学生物理工学部の概要説明を受け、その後、小グループに別れて、それぞれ2つの研究室を訪問しました。参加した生徒からは、次のような感想が聞かれました。



概要説明を受ける生徒



人間環境デザイン工学科での説明

- 僕は将来、研究者になって生物について研究してみたいと思っているので、実際に大学で生物についてどのような研究がされているのかを知ることができたことは、この先役立つと思った。
- 教授の方から実際にお話しを聞くことは貴重な体験だと思うので、進路を考える際などに活かしていきたい。大学で学べることや雰囲気を感じることができた。これからは、自分が学びたいことをよく考え、進路を決めていきたいと思う。
- 実際に訪問させてもらったことによって、将来の選択肢が増えました。

- 自分で課題を見つけて解決するのは大変だと思うが、楽しそうだとも思った。
- 身近なものに疑問を持って研究するのが、楽しそうだなと思った。大学で専門的なことを学びたいという思いが大きくなった。
- 大学の学部や学科だけでなく、どんな教授がどんな研究をしているのかについても調べたくなった。

以上から、この研究室訪問で生徒たちは、科学的な認識や知的探究心が高まり、また学習意欲の向上に大きな効果があったと感じています。

SSH 生徒研究発表会で『生徒投票賞』をいただきました!

8/3(水)、4(木)に神戸国際展示場でSSH生徒研究発表会が行われました。本校からは『VLBIの民間化に向けた観測機の作製』というテーマで研究を行ったグループから3名参加をしました。8/3(水)に行われたポスター発表の際に審査され、様々な賞が決定されます。また代表校に選出されると、2日目の全体会でプレゼンすることになります。本校は残念ながら代表校に選出はされませんが、参加校の生徒の投票で選出される『生徒投票賞』を受賞することができました。SSH校220校の中から12校しか選出されない生徒投票賞を受賞することができ、研究が認められ嬉しい気持ちでいっぱいになりました。また、他のSSH校の研究の中には面白いものもたくさんあり、参加した生徒は良い刺激を受けたようでした。

参加校	発表題目	発表者	所属
神戸国際女子高等学校	VLBIの民間化に向けた観測機の作製	山本 悠太	理数科
...



SSH校220校の中から12校しか選出されない生徒投票賞を受賞することができ、研究が認められ嬉しい気持ちでいっぱいになりました。また、他のSSH校の研究の中には面白いものもたくさんあり、参加した生徒は良い刺激を受けたようでした。